

HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十一・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

HSK

遊ぼうよ

No. 77

マサイキリン



マサイキリン (福村宣博 作)

「障害者差別解消法県条例・学習会」 企画
テーマ：「障害者の人権におけるバリアフリーをめざす富山」

去る4月11日にサンシップとやまの会場にて、富山県・富山市の後援を得て今回の企画を行いました。当日、45名の参加者がありました。

内容としては、お二人の方にご講演を頂きました。一人目は「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」について、富山県障害福祉課（係長）杉田 尚美氏にお話しを頂きました。お二人目は「障害者差別をなくすための千葉県条例」に関わってこられた経験から）ということで、毎日新聞論説委員の野澤和弘氏からお話を伺いました。

富山県障害福祉課（係長）杉田氏から、この間の「国連の障害者権利条約」の批准に至る経過や国の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等が成立の流れ、そして各自治体で「障害者差別解消法の条例」が制定されてきている経緯などについて話されました。富山県でも議会で「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が可決され、来年の4月から施行されるこの条例について課題及び新着状況について話されました。

毎日新聞論説委員の野澤氏から、当時「千葉県障害者差別をなくすための研究会」の座長を務めておられ、その中で障害者委員との出来事ややり取りを紹介しながら同条例制定までの苦労話を話されました。野澤氏自身が知的障がい児の親でもあり息子さんの話も交えながら話されました。私が一番残った話しは、聴覚障害者の集まりに呼ばれて行き、手話通訳がいるのは野澤さん一人であったという話しを聞いて、私は外国に行ったときのことを思い出していました。環境や立場性が変われば、合理的配慮というものも変わるんだと思いました。また、持っている障害が違えば障害者差別と感ずることや何を不便と感ずるかの違いもあり、そのことは合理的配慮というものも違ってくることとなります。野澤さんは条例を作っていく中で障害による様々な問題をもっとザックバランに出し合いながら、包括的にすべての障害者を含む差別を無くしていくための条例を作っていくことを行政からではなく、下から積み上げていくことが必要だといわれていました。

条例で一番たいせつなのは、条例の対象者が条例に何を望むのか、何を差別として感じ、何を禁止してほしいのか。また、合理的配慮というものをどう捉え、どう考えていくのか。一方的に考えられて、「これが貴方たちにとっての合理的配慮で

す」といわれても合理的「配慮」が「排除」に繋がるものにもなる恐れも出てくるかもしれないと思いました。

さらに今は障害者の範囲も広く、ザックバランにいろんな障害を持った人たちが様々な意見を出し合いながら相互間の理解を深めながら条例の内容を深めていくことが大切ではないだろうか。

4月11日の企画を終えて

今回の企画に参加して下さった方々は、障害をお持ちの身体・知的・視覚・聴覚・精神の人たちや福祉関係で働く方々及ぶ他業種で仕事をしておられる方々も多く参加されていました。アンケートを取らせて頂きましたが、「このような企画をもっとしてほしい」という要望が多くありました。また、もう一度同じ企画を行ってほしいという要望もありました。野澤さんからもいわれていたように、いろんな人たちが気軽に話せる場が必要だと思えますし、自分以外の障害者の人たちの意見を知ること大事ですし、障害を持っていない人たちにも知って頂ける機会になると思いました。(平井誠一)



4月11日に「障害者差別解消法県条例・学習会」を企画し、講師には富山県障害福祉課(係長) 杉田 尚美氏と毎日新聞論説委員の野澤和弘氏をお招きしました。当日45名の参加者が集まり充実した学習会になったと思います。お1人目の杉田氏からは富山県が全国で10番目に条例が可決され、来年の4月までに条例の中身を詰めていくという話でした。これからガイドラインができたり、相談員の体制や地域協議会に関して話が進められていく中で、どのように条例を活用できるかが課題になってくると思います。お二人目の野澤氏からは知的障害の息子の親の立場と障害者差別をなくすための千葉県条例に関わってこられた体験をもとに話を伺いました。様々な話題が組み込まれた講演の中で私が印象に残ったことが『雇用と教育の合理的配慮』の話でした。野澤氏の視察の話でも数々の事例がありましたが、昔からある雇用と教育現場の差別はまだまだ人の心も環境もバリアフルです。野澤氏の言葉の中にもありましたが、「空気や人の心を変える条例が必要」であり「条例は障害者の存在意義を広めていくチャンス」であるということと来年施行される法律や条例が障害のある人にもそうでない人にも知って頂いて互いに推し進めていける機会が必要ではないかと思いました。(八島梨花)

1泊2日で体験室を利用!

※昨年12月、富山市内の大学に通学している学生さんが1泊2日で体験室を利用されました。現在はご自宅で暮らしておられますが、いずれ親元を離れて暮らすため、今回の体験となりました。以下は、その際の記録です。



<ご本人の感想>

今回、初めてこのような体験をさせて頂き、様々な発見や教訓を得ることが出来ました。普段あまり利用しない公共交通機関や経験の浅い食材の買い出しと自炊など、自宅での生活では体験できないことが出来ました。この体験を通して、自立生活を将来していくにあたって今の自分に不十分な力や、今後考えていく必要がある課題が理解出来ました。



<体験後の聞き取りから>

カラオケに行ったり、いろいろな体験が出来てうれしかったそうですが、買い物に行った時は道に迷ってしまったそうです。また、体験時期が雪降る寒い時期だったので防寒対策をもっとしたらよかったと思われたそうです。

写真は、富山市の中心部にあるグランドプラザへ路面電車を使って出かけてみるところ。41号線の歩道の一部は融雪されているのですが、路面電車の乗り場は幅が狭く、更に積雪のため、

センターのスタッフが乗車だけお手伝いしました。乗車後は、どこで降りたらいいのかを他の乗客に聞いて、降車時は運転手さんが手伝ってくれたそうです。

(※体験室の利用を希望される方はご相談ください。スタッフと一緒に計画を立てましょう。)

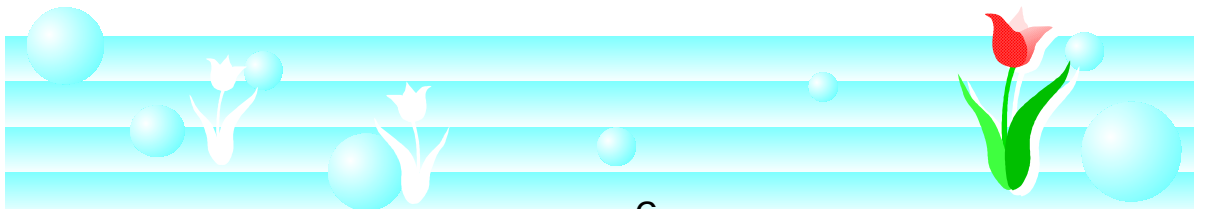


自立生活支援センター富山の主な動き

〈この間の活動報告〉

2月 1日(日)	送迎	富山市内
2月 3日(火)	富山市内相談支援事業者連絡会	障害者プラザ
2月 4日(水)	送迎	富山市内
2月 5日(木)	専門ワーキング出席	基幹相談支援室
2月 5日(木)	福祉有償運送運営協議会	富山市役所
2月 6日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
2月 6日(金)	高志支援学校評議会	高志支援学校
2月13日(金)	ケア会議開催	高志支援学校
2月14日(土)	送迎	富山市内
2月16日(月)	送迎	富山市内
2月17日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
2月17日(火)	相談支援ワーキング	障害者プラザ
2月18日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
2月20日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
2月20日(金)	ケア会議開催	富山市内自宅
2月24日(火)	第3回自立支援協議会	富山市役所
2月25日(水)	理事会	りーぶる事務所
2月26日(木)	ケア会議開催	富山国際会議場
2月28日(土)	送迎	富山市内
3月 2日(月)	ケア会議開催	富山市保健所
3月 4日(水)	送迎	富山市内
3月 6日(金)	ケア会議開催	このゆびと一まれ
3月 6日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
3月 8日(日)	送迎	富山市内
3月11日(水)	専門ワーキング出席	基幹相談支援室
3月14日(土)	送迎	富山市内
3月15日(日)	富山県相談支援専門員協会設立総会	サンシップとやま
3月16日(月)	専門コース別研修	富山県民会館
3月16日(月)	送迎	富山市内
3月17日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
3月18日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
3月18日(水)	ケア会議開催	りーぶる事務所
3月18日(水)	ケア会議開催	富山市保健所
3月18日(水)	ケア会議開催	りーぶる事務所
3月19日(木)	第7回講師派遣「ガイドヘルパー」	白山市民交流センター

3月20日(金)	JIL中部ブロック研修	AOSSA
~21日(土)		
3月23日(月)	送迎	富山市内
3月25日(水)	ケア会議開催	リーぶる事務所
3月25日(水)	ケア会議開催	リーぶる事務所
3月27日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
4月 1日(水)	ポストポリオの会議	高志リハビリテーション病院
4月 3日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
4月 3日(金)	送迎	富山市内
4月 4日(土)	送迎	富山市内
4月11日(土)	学習会「障害者の人権におけるバリアフリーをめざす富山」開催	
	サンシップとやま	
4月15日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
4月17日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
4月17日(金)	ケア会議開催	高志ライフケアホーム
4月19日(日)	送迎	富山市内
4月20日(月)	送迎	富山市内
4月20日(月)	ケア会議開催	県民会館
4月21日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
4月21日(火)	ケア会議開催	リーぶる事務所
4月22日(水)	送迎	富山市内
4月22日(水)	相談支援ワーキング出席	障害者プラザ
4月28日(火)	事務局会議	リーぶる事務所
4月30日(木)	第1回講師派遣「人権におけるバリアフリー」	
	富山県生活協同組合本部	
5月 7日(木)	理事会	リーぶる事務所
5月 8日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
5月 9日(土)	送迎	富山市内
5月12日(火)	専門ワーキング出席	基幹相談支援室
5月15日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
5月17日(日)	送迎	富山市内
5月18日(月)	送迎	富山市内
5月19日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
5月19日(火)	グループスーパービジョン	障害者プラザ
5月22日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
5月23日(土)	総会	富山県民会館



「北陸新幹線に乗車して」

富山生きる場センター

大石 晃



5月15日から17日まで東京に北陸新幹線に乗って行きました。新幹線の出入り口は、ホームとの間の段差もあまりなくスムーズに乗車することができました。座席は車椅子席と呼ばれる場所で、その座席と前の座席とのスペースが一般の座席よりも少し広いので、車椅子から座

席に自分で移動が可能な方も、介助が必要で座席に座る方も移動が以前のはくたかよりもしやすいと思います。

それから、座席に移動出来ない方のために車椅子のままで乗れるように、通路側の座席に固定するフックが付いています。それを車椅子に固定するのだと思います。しかし、私が思ったのは、車椅子を固定してしまうと通路が狭くなって他のお客さんや車内販売のワゴンなどが通りづらくなるのではないかと感じました。難しいかもしれませんが、もう少し回りのことも考えて座席やスペースを作ってもらいたいと思いました。



トイレは、一般のトイレが2つで、多目的トイレが1つありました。今回、私は使用しなかったのですが、ひとつと言えることは、手動の車椅子だとゆとりをもって使用できると思うの

ですが、電動車椅子だと大きさにもよりますがそのスペースで動きやすいものと動きにくいものがありそうだなあと感じました。座席と同じように、どんな人でも利用しやすくなればいいと感じました。

新幹線は、音は静かで乗り心地も快適でした。



会費納入のお願い

日頃から私たちの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今回の機関誌に会費納入用の振込用紙を同封させていただきました。既にご入金いただいた方には失礼ご容赦ください。

去る5月23日に開催された法人総会では、参加者から相談者側の課題だけでなく、自分たちの課題をまとめてはどうか。計画相談だけでなく幅広く課題に取り組んでほしい。65歳になった障害者は介護保険になると富山市の場合はどうなるのか等、意見・質問が出されました。

いろいろな意見を参考に、今後も自分たちの視点を大切にして活動を続けていきたいと考えております。今後ともおつきあいの程、宜しくお願いします。(文責 田中)



5月23日開催された総会の様子



暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。沖縄県では例年よりも遅いですが梅雨入りとなったそうです。近頃の天気ですと「今年は梅雨を飛ばして夏なのか」と喜んだのですが、どうやらそうもいかないようです。また洗濯物の乾かない日が続いてきます。気温や気圧の変化の大きい季節の変わり目です。皆様ご自愛下さいませ。

(文責 鳥内)

※ スタッフから一言 ※

編集人：特定非営利活動法人
自立生活支援センター富山
連絡先：〒930-0024
富山市新川原町5-9
レジデンス新川原1F
tel 076-444-3753
fax 076-407-5557
郵便振替：00700-5-47253
自立生活支援センター富山
発行人：北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉312番地
定 価：90円
年間購読料：360円